

令和 7 年度 第 2 回 石巻市入札監視委員会議事概要

開催日時	令和 7 年度 7 月 1 4 日（月）午後 1 時 3 0 分～午後 4 時 1 0 分
開催場所	石巻市役所 本庁舎 5 階 5 0 0 会議室
出席委員	委 員 長 小川 真儀 （弁護士） 委 員 三森 敏正 （石巻専修大学教授） 松川 幸代 （税理士） 鍵屋 浩司 （東北工業大学教授） 我妻 賢一 （宮城県）
説明のため 出席した職員	建設部 下水道建設課長、技術主幹兼建設係長 道路課長、技術課長補佐、技術主幹兼施設維持係長、主任技師 都市計画課長、都市計画係長 復興企画部 D X 推進課長、システム管理係長、主幹 牡鹿総合支所 市民福祉課長 教育委員会 生涯学習課長、主査
事 務 局	総務部長 管財課長 ほか 4 名
審議事項	抽出事案の審議 （抽出事案は別紙 1 のとおり）
委員からの 意見・質問 及び回答	別紙 2 のとおり

抽出事案一覧表

別紙 1

NO	件 名	入札方式	担当課
1	令和 6 年度 西流下单私 3 号大街道東一丁目地内枝線 築造工事	指名競争入札	建設部 下水道建設課
2	令和 6 年度 石巻市網地島高齢者生活福祉センター・デ イサービスセンター防災用照明設備修繕	指名競争入札	牡鹿総合支所 市民福祉課
3	令和 6 年度 牧山西トンネル補修設計業務	一般競争入札	建設部 道路課
4	令和 6 年度～令和 1 1 年度 石巻市社会教育施設 L E D 照明器具賃貸 借業務	一般競争入札	教育委員会 生涯学習課
5	令和 6 年度 石巻市都市計画道路見直し検討業務(その 2)	指名競争入札	建設部 都市計画課
6	令和 6 年度～令和 9 年度 仮想化基盤ソフトウェア使用	随意契約	復興企画部 D X 推進課

抽出事案の審議

別紙 2

No. 1 西流下单私 3 号大街道東一丁目地内枝線築造工事

事業概要		私道内公共下水道設置申請のあった箇所について、単独費により公共下水道を整備するもの。
入札経過、結果等		指名競争入札で執行し、石巻市の競争入札参加資格承認簿に市内の本店で登録され、「石巻地区西部」に所在する者のうち、「土木工事」の「C 等級」に登録されている全 19 者を指名したところ 1 者のみの応札のため、不調となった。 そのため設計見直しと当初の指名条件に上位「B 等級」を加えた全 30 者を指名したところ 3 者から応札があり、落札率は 95.8%であった。
審議事案選定理由		① 指名業者の選定理由 ② 最低制限価格を設定した理由
選定理由に対する説明		① 1 回目が不調となったため、土木 C の「石巻地区東部」10 者を加えることも考えたが、過去 10 年の応札実績がないため、地域区分を西部のまま上位の B を加えた。 ② 石巻市の契約規則に基づき当該工事は対象となるため。
審議概要	委員	指名競争の際に何者以上でなければというルールはあるか。
	担当課	指名であれば基本的には 10 者以上としている。
	委員	辞退者が多い理由は分かるか。
	担当課	B、C クラスに発注できる機会が少なく、公共工事としての下水道工事の経験があまりないというのが実情だと思う。

No. 2 石巻市網地島高齢者生活福祉センター・デイサービスセンター防災用照明設備修繕

事業概要		石巻市網地島高齢者生活福祉センター及び石巻市網地島デイサービスセンターの非常用照明及び誘導灯が故障しており、令和9年末までに一般照明用のすべての蛍光灯の製造終了が決定していることから、LEDに切り替えたもの。
入札経過、結果等		指名競争入札で執行し、石巻市の競争入札参加資格承認簿に市内の本店で登録され、「電気工事」の「B等級」に登録されている全16者を指名したところ6者から応札があり、落札率は35.9%であった。
審議事案選定理由		落札率が35%となった経緯
選定理由に対する説明		公共積算と市場価格の乖離がある中で、今回は落札業者が器具の仕入れ値や固定費の計上を安くできたため低落札率となった。
審議概要	委員	落札金額があまりにも低すぎる。適切に履行できるよう最低制限価格を設けないで大丈夫か。
	事務局	基本的に工事と工事に関連する設計等のコンサル業務の一定の金額以上のものについて、最低制限価格を設定している。今回は修繕のため最低制限価格は設定していない。
	委員	予定価格と落札額の乖離が大きい場合、ズレの原因を聞き取りなどにより調査し、今後に活かせる仕組みを作っては。
	事務局	予定価格と落札額が大きく乖離しているものについては、発注した担当課において、事業者から積算内訳などを求めて、本当に履行ができるのか確認をするような、そういった対応も検討したい。

No.3 牧山西トンネル補修設計業務

事業概要		本トンネルは、道路メンテナンス事業費補助金を活用し、長寿命化修繕計画を実施している。 業務については、令和4年度に実施した定期点検結果において、健全度Ⅲ判定で早期措置を講ずる必要性のある結果であったことから、安全度の向上を図るため、覆工面のひび割れ、浮き・剥離対策の詳細調査、補修設計、工法検討等を行ったもの。
入札経過、結果等		制限付一般競争入札で執行し、参加条件は石巻市の競争入札参加資格承認簿に宮城県内の本店、支店又は営業所等で登録され、建設コンサルタント「トンネル」部門の登録があり「平成21年度以降に国、地方公共団体又はこれに準ずる機関が発注した道路トンネルに係る「トンネル補修設計業務」を元請けとして業務完了実績」を有する者とし、10者から応札があり落札率は81.61%であった。
審議事案選定理由		① 一般競争入札とした理由 ② 最低制限価格を設定した理由
選定理由に対する説明		① 本来、予定価格1000万円以下なので指名競争入札とすべきだが、今回業務の実績を求めているので、広く参加を求めるため一般競争入札とした。 ② 市の契約規則で工事と工事に関連する設計等のコンサル業務の一定の金額以上のものについては最低制限価格を設定するため。
審議概要	委員	最低制限価格未満失格が多かったが要因はなにか。
	担当課	補修設計業務で歩掛りの価格がないので、5者以上から見積を徴収し、平均価格を積算価格としている。業者によってはどうしてもバラつきがあるのかもしれない。
	委員	総合評価方式で発注していれば違う結果になった可能性があるが、総合評価方式で発注しようと思えばできる案件だったのか。
	担当課	令和6年度は予定価格7500万円以上の建設工事が総合評価の対象であり、本業務は対象外であった。

No. 4 石巻市社会教育施設ＬＥＤ照明器具賃貸借

事業概要		水銀灯の製造が終了したことに伴い、河北総合センター、遊楽館及び桃生文化交流会館（アリーナ・ステージ）などの社会教育施設において照明のＬＥＤ化を行う。令和６年度末ＬＥＤ設置、令和７年度からリース開始。
入札経過、結果等		制限付一般競争入札で執行し、参加条件は石巻市の競争入札参加資格承認簿に「役務提供」で宮城県内の本店、支店、営業所等で登録され、過去５年間のうちに、国又は地方公共団体の発注による同規模施設のＬＥＤ照明器具賃貸借契約の事業実績があり、ＬＥＤ照明器具交換工事を令和７年３月３１日までに完了し、令和７年４月１日からＬＥＤ照明灯の賃貸借を開始でき、賃貸借期間中の設備の保守及び維持管理ができ、部品供給ができる者とし、１者から応札があり落札率は９７．６３％であった。
審議事案選定理由		一般競争入札で入札が１者のみであった経緯
選定理由に対する説明		交換方式を仕様書で器具の交換とランプ交換としたが、ランプ交換の対応可能な業者が実際少なかったのが原因と考えている。
審議概要	委員	参考見積は何者から徴収したのか、また落札業者からは徴収したのか。
	担当課	落札業者１者のみである。
	委員	プロポーザル方式の検討はしたか。
	担当課	検討したが、より広く、より有利な条件で一般競争入札の方が契約できると考えた。
	委員	他の業者が参加する可能性はあったのか。
	担当課	スポーツ施設のＬＥＤ照明器具賃貸借は他の業者が落札している。

№.5 石巻市都市計画道路見直し検討業務（その2）

事業概要		人口減少や超高齢化社会が進行する中で、震災からの復興を踏まえた持続可能な都市づくりとコンパクトでネットワーク化された都市構造の構築を目的に都市計画道路網の見直しを行うもの。 見直しに当たっては、「都市計画道路見直しガイドライン（宮城県）」に基づき作業を進めており、長期未着手路線の廃止及び変更、未整備路線における整備の優先順位等を検討し、令和8年度末を目標に将来都市計画道路網計画を策定するもの。
入札経過、結果等		指名競争入札で執行し、石巻市の競争入札参加資格承認簿に宮城県の本店、支店、営業所等の所在があり、建設コンサルタントの「都市計画及び地方計画」並びに「道路」に登録、一般社団法人都市計画コンサルタント協会へ業務分野を「交通計画・設計」として登録され、宮城県内において類似業務の実績があり、外部承認機関における承認登録を取得済みである全9者を指名したところ、9者から応札があり、落札率は74.2%であった。
審議事案選定理由		① 指名数9者の根拠 ② 増額変更契約の理由
選定理由に対する説明		① 業務を円滑に進めるため、必要な条件を付した結果9者となった。 ② 業務着手の同じタイミングで立地適正化計画が策定され、整合性を図る必要が生じ、項目を追加した。 新たに都市計画道路が開通し、交通ネットワークに大きな変化がみられたため、3か所の交通量調査を追加した。
審議概要	委員	一般競争入札としないのはなぜか。
	担当課	検討したが、業務内容が各種計画との整合、広範囲に渡る交通量推計を基に必要性を多方面からの評価、廃止路線の検討も含める特殊な内容と判断し、契約の相手方を特定して実施する必要があると判断したため指名競争入札とした。
	委員	変更となった要因（道路交通ネットワーク）は、発注時点で想定できなかったか。
	担当課	ある程度把握していたものの、想定以上に交通量が変わっていたので変更契約により追加した。

No. 6 令和6年度個別業務システム仮想化基盤ソフトウェア使用

事業概要		端末からサーバーにアクセスするためのライセンスを更新するためのライセンス使用契約。
入札経過、結果等		仮想化環境については、ネットワークシステムズ株式会社が構築し、運用保守（機器等のオンライン監視含む。）を行っている。 仮想化環境を構築し、運用するためには、専用のソフトウェアのほか、専門の知識、技術を必要とする。 仮想化環境で使用される各種ライセンスには使用期限があり、期限がくる都度、更新のための調達作業を行うこととなるが、これらのライセンスは購入し完成するものでなく、システムに組み込む作業を伴うため、構築作業並びに運用保守を担い、内容を熟知している当該事業者1者と随意契約を行った。落札率は100%であった。
審議事案選定理由		内容と随意契約とした理由について
選定理由に対する説明		市では住基や税など20種類ほど業務システムがあり、当然システム毎にシステム用の端末が必要となるが、20台分のパソコンの役割を1台の端末の中でそれぞれ分離した上で補う技術を仮想化と呼んでいる。今回期限が切れたライセンスを更新する内容である。 仮想化基盤という仕組みを構築し運用保守を担い、内容を熟知している業者でなければ困難であるため1者随意契約とした。
審議概要	委員	抜本的なシステム変更がない限り、この業者と随意契約を継続することになるのか。
	担当課	そのようにならざるを得ないが、将来的には国が進めているガバメントクラウドにシフトしていくものと思われる。
	委員	基本的には、会社の変更はない。そうすると競争が働かないと思うが金額の妥当性はどうか判断しているのか。
	担当課	今回の契約のライセンスの部分に関しては、どこが扱っても大きく差が出ることはないと思っている。システム部分に関しては基本的に仮想化の仕様そのものが、同じものを使っている市町村はないので金額の比較は難しい。